

# 一般質問発言通告書

発言順位 10番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 6年 6月11日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 9 番 服部 正平

質問事項 1	市が掲げた「日本一幸せに暮らせる都市」を目指す基本目標をすすめるために
具体的内容	だれもが日常の暮らしに不安を抱くことなく、健やかに日常生活を営める環境づくりは重要です。それは有事の際にも同様。それらを推進するための施策推進は市の第5次総合計画として進められている。
	新型コロナウイルス感染症を受け生活様式の変容。さらに物価高騰。情勢の変化に追いつけず不安を変える市民は少なくはない。この状況下において当市が推進を図る「第5次総合計画」は将来にわたって市民に希望を与えられる内容となるよう取り組むべきであると考え、総合計画に基づく方針に沿っての事業内容の確認及び付加すべき施策について以下伺う。
	1 市立老人ホーム佐野楽寿寮廃止後の今後の跡地利用について
	(1) 入所者の対応
	(2) 今後の施設利用の構想
	2 第9次高齢者福祉計画の結果の第10次計画への反映について
	(1) 複数ある高齢者施策（事業）のまとめと課題
	(2) 高齢者実態調査から見えてくる実態からの高齢独居世帯への関わりかたについて
	3 子どもの育成に於ける安心・安全策について
	(1) 幼児期における医療体制について
	(2) 通学時の黄色いヘルメットを自転車乗車時に可能な規格へ
	4 災害時における指定避難所、支援物資集積拠点となる施設について
質問事項 2	「美しい伊豆創造センター」新生 “美伊豆” の更なる活用で伊豆の活性化を
具体的内容	「美しい伊豆創造センター」は平成27年4月静岡県及び伊豆地域 13 市町が伊豆半島グランドデザインの推進組織として設立されました。当初同名で任意の「美しい伊豆創造センター」があり平成30年2月議会にて指摘をさせていただき、センターは統合され、その後「ジオパーク推進協議会」が統合され略称「美伊豆」として現在に至っています。新たなセンターは豊岡市長が会長となり正会員 107、賛助会員 145、協力会員 3 と行政だけではなく多くの団体がかわる力を持った組織となっています。
	より大きな目で観光振興を捉え伊豆に暮らす生活者に目を向け、生活者の理解を得て共に地域に活力を取り戻す事を使命とされていることには期待するところです。
	そのことから以下、組織の活動力・資金力等を検証する。
	1 一般社団法人「美しい伊豆創造センター」の活動内容について
	(1) 重点戦略「3本の柱」によって当市の観光振興等の貢献に対する評価
	(2) 市内事業者による観光事業者採用支援事業の取り組みの状況は。
	2 「伊豆ファン倶楽部推進事業」と「美しい伊豆創造センター」の関わりについて